| 学校番号 | T3017 |
|---|---|

# 令和８年度　工業科

| 教科 | 工業 | 科目 | （学）情報と文化Ａ | 単位数 | ４単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会における情報化、情報技術に関する知識と技術、工業の各分野において情報及び情報手段など、皆さんの生活の中にある情報技術について学びます。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
情報技術に関する知識と技術を習得する。
【学びに向かう力、人間性等】
工業の各分野において情報及び情報手段を主体的に活用する能力と態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技術 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 情報技術に関する基礎的な知識と技術をもち、社会における情報化の進展と情報の意義や役割、情報化社会に生きる技術者としての使命を理解している。情報技術を利用した情報の収集・処理・活用のために必要な知識・技術を身に付ける。 | 諸問題の解決をめざしてみずから思考を深め、問題解決方法を適切に判断する能力を身につけており、情報技術を活用して情報を処理・表現することができる。 | 情報技術に関する基礎的な知識と技術に関心をもち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的・実践的な態度を身につけている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 情報と文化とは | 1 情報と生活<br>2 コンピュータの特徴<br>3 コンピュータの構成<br>4 コンピュータの発達<br>5 情報化の進展と産業社会<br>6 情報化社会の権利とﾓﾗﾙ<br>7 情報のｾｷｭﾘﾃｨ管理 | a: 情報技術に関する用語、第1から5世代のｺﾝﾋﾟｭｰﾀ、知的財産権の内容、ﾓﾗﾙの重要性を理解している。<br><br>b: ｺﾝﾋﾟｭｰﾀの特徴や利用のされ方、発達や身のまわりでの活用、情報の権利とﾓﾗﾙやｾｷｭﾘﾃｨなどに関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。<br><br>c: 情報化社会で守るべきﾓﾗﾙについての法的な根拠、情報の不正利用の技術的な防止方法について、情報技術を利用して調べてまとめることができる。 | ワークシート<br><br>実習課題<br><br>小テスト | ワークシート<br><br>実習課題<br><br>小テスト | ワークシート<br><br>実習課題<br><br>小テスト |
| 後期 | 情報の使い方 | 1 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀの基本操作<br>2 ｿﾌﾄｳｪｱの基礎<br>3 ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝｿﾌﾄｳｪｱ<br>4 インターネットの使い方 | a: 利用者認証の意味、記憶媒体の特徴などについての知識を身につけ、アプリケーションソフトウェアやインターネットの特徴や機能について理解している<br><br>b: OSとﾊｰﾄﾞｳｪｱ、応用ｿﾌﾄｳｪｱの関係が考察できる。また、ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝｿﾌﾄｳｪｱの中から必要なｿﾌﾄｳｪｱを選択して活用し、情報を処理し、必要な形式で出力できる。<br><br>c: ｺﾝﾋﾟｭｰﾀの基本操作や記憶装置の取り扱い、基本ｿﾌﾄｳｪｱと応用ｿﾌﾄｳｪｱの違い、OSの目的と種類などに関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。 | ワークシート<br><br>実習課題<br><br>小テスト | ワークシート<br><br>実習課題<br><br>小テスト | ワークシート<br><br>実習課題<br><br>小テスト |

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度